

- 「国際標準化活動 若手交流会」の開催について
ー情報通信分野の国際標準化活動をサポートー
 - 平成18年4月6日
-

独立行政法人情報通信研究機構(以下NICT。理事長: 長尾 真)は、わが国の情報通信分野の標準化推進に向けた取り組みの一環として、国際標準化活動の第一線で活躍する若手研究者の交流会を4月5日、東京都内で開催しました。
国際標準化をテーマとした情報交換の場が少ない中、若手研究者相互間の人的交流を促進し、ノウハウの共有を図ることで、国際的な場に臨む若手研究者を支援しようというものです。

<背景>

NICTは、平成18年度から始まった第2期中期計画において、「国際標準化活動の強化」を掲げており、その一環として昨年8月に標準化推進室(現:標準化推進グループ)を設置し、標準化活動で活躍する人材の育成と支援を活動テーマの一つとしています。

国際標準規格獲得の為に、継続的に国際会議等に出席し、提案や調整を行うという地道な作業を要することから、民間企業では従来に比べ国際会議へ職員を派遣することが困難になってきています。このため、経験を積んだ複数専門家による参加が減少し、若手研究者が単独で標準化に関する国際会議に出席する機会が多くなってきています。また、技術や専門分野の細分化が進み、他の分野で活動する研究者との交流の機会も減少しています。

<交流会・開催概要と報告>

こうした状況を踏まえ、NICTは若手研究者の交流の場を設けるべく、4月5日「国際標準化活動 若手交流会」を都内で開催しました。当日はNTT、KDDI、NHK(順不同)の3者と、主催者であるNICTより20名を超える参加がありました。参加研究者は、国際電気通信連合(ITU)や民間フォーラムにおいて、自らの規格提案は勿論のこと、各国間における提案調整役も担う、国際標準化活動の第一線で活躍する研究者でした。まず、相互理解促進を図るために、それぞれ所属する組織(企業)での標準化活動の状況、標準化団体における活動の特徴などについて報告が行われました。続くフリーディスカッションでは、活発な意見交換が行われました。

参加者からは「社内でも標準化をテーマとする情報交換の機会が少ない。ましてや他の会社ともなれば同じ会議に同席する研究者以外と話をする機会もなく、非常に有益。」「職場の上司とは違い、同年代の研究者とフランクに交流が出来た。今後もしろいろと情報交換できることはうれしい。」などの声があがっていました。

<標準化活動の推進に向けて>

今回開催した本若手研究交流会が、知識・技術を共有する機会を与え、かつお互いに刺激を受け、結果として研究者同士のネットワークを強めたことが、参加者の声から知ることができました。こうした人材とノウハウが交流する「場」を提供することで、わが国の国際標準化活動の活性化につなげることもNICTの国際標準化活動支援策と位置づけています。

次回は、抽出された課題について議論するとともに、より対象を広げた参加者募集を視野にいたした開催を検討しています。

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総合企画部 広報室
栗原則幸、大野由樹子
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<交流会に関する問い合わせ先>

情報通信研究機構 研究推進部門
標準化推進グループ
田口 和博、大堂 雅之
Tel: 042-327-5513、Fax: 042-327-5519
